

予備自衛制度の全体像

区 分	即応予備自衛官	予備自衛官	予備自衛官補（非防衛力）	
			一般公募	技能公募
有事の際 の 役 割	第一線部隊の一員として、現職自衛官とともに任務に就きます。	第一線部隊が出動した時に、駐屯地の警備や後方支援等の任務に就きます。		
招 集 区 分	防衛招集 治安招集 災害等招集 国民保護等招集 訓練招集 	防衛招集（警備） 災害招集 国民保護等招集 訓練招集 	教育訓練招集 	
訓 練 招 集	30日間 （2～4日間程度の訓練を複数回）／年	5日間／年 （3日間と2日間に分割可能）	50日／3年 以内	10日／2年 以内
採 用 対 象	○ 元自衛官 ○ 一般公募予備自衛官（特技保有）	○ 元自衛官 ○ 予備自衛官補の教育訓練修了者	○ 主として自衛官未経験者 ※ 技能公募は、国家資格等を有する者が対象	
採 用 可 能 年 齢	士長～1士	50歳未満	18歳以上 52歳未満	18歳以上53 ～55歳未満
	2曹～3曹	52歳未満		
	2尉～1曹	53歳未満		
処 遇	○ 訓練招集手当 14,200～10,400円／日 ○ 即応予備自衛官手当 16,000円／月 ○ 勤続報奨金 120,000円／1任期	○ 訓練招集手当 8,100円／日 ○ 予備自衛官手当 4,000円／月	教育訓練招集手当 8,800円／日	
雇 用 企 業 給 付 金	42,500円／月・人 （年額510,000円）			

※即応予備自衛官及び予備自衛官の処遇は令和7年度中に増額予定